

子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！

2024年4月15日

第29号

すくらんぶる

活動情報

4/23 高学年部会

4/26 劇場代表者会

5/9 理事会

5/21 祭典事務局会議

6/4 祭典事前交流会

6/7 中ムラサコ&浅野
佳砂音「トークセッション」

6/13 通常総会

6/8~9 中ムラサコ

乳幼児ワークショップ

7/10~8/3

第29回長崎県子ども

舞台芸術祭典

舞台コーディネイト事業

NPO法人長崎県子ども劇場連絡会は、子どもの権利条約第31条(休息、余暇、遊び、文化・芸術的生活への参加)の実現を目指して活動しています。その一環として取り組んでいる舞台コーディネイト事業は、1人でも多くの子どもたちに生の舞台を観ることを通じて感性や想像力を豊かにしてほしい、みんなと一緒に観る楽しさを体感してほしいと、県内の保育園、こども園、学童、子育て支援などに作品提案をし、当日までをサポートしながら出会いの場をつくっています。今年度は、人形劇団ののはなの「ともだちげきじょう」とくわえ・ぱぺっとステージの「ふくろうぼうや月夜のぼうけん」の2作品15公演を取り組むことができました。

「ともだちげきじょう」人形劇団ののはな

2024年1/12(金)親愛児童クラブ、

13(土)あすか学童クラブ《2公演》

対馬市厳原町にある2つの学童では2018年から【観劇+ワークショップ】の公演を実施しています。コロナで2年お休み(延期)をしましたが、4作品目となる今回は人形劇団ののはなさんにお願ひしました。登場する人形の中に大きな紙コップやウレタンで作った人形もあり、いつもの人形劇とはちょっと違う!ワークショップから生まれた人形たちに子ども達の目が輝いていました。観劇後のワークショップは、

色画用紙やシールなどのパーツがたくさん準備されていました。子ども達の個性溢れる、世界にたった一つのオリジナルのパタパタ蝶々やトンボなどが出来上がり、子ども達はたいへん喜んでいました。【人形劇+人形作りワークショップ】は毎回先生方にも「人形遣いや人形作りの参考になります。」と好評です。プロの人形劇を観たことは、先生方の勉強にもなっているようです。これからも作品との良い出会いを大切にしたいと思います。(つしま親子で舞台を楽しむ会 一宮順子)

色画用紙やシールなどのパーツがたくさん準備されていました。子ども達の個性溢れる、世界にたった一つのオリジナルのパタパタ蝶々やトンボなどが出来上がり、子ども達はたいへん喜んでいました。【人形劇+人形作りワークショップ】は毎回先生方にも「人形遣いや人形作りの参考になります。」と好評です。プロの人形劇を観たことは、先生方の勉強にもなっているようです。これからも作品との良い出会いを大切にしたいと思います。(つしま親子で舞台を楽しむ会 一宮順子)



「ふくろうぼうや月夜のぼうけん」

くわえ・ぱぺっとステージ

2024年1/30(火)~2/14(水)《13公演》



“ここで何があるんだろう…”と少し不安げな様子で会場に入ってきた年少組さんは、最初のセリフがない作品「ぷぶいのぶい!」が始まると、徐々に緊張がほぐれて人形の動きに大笑いしながら、お友だちや先生が笑っているのを見て、また舞台上に釘付けになる～を繰り返しながら、お話の世界に入り込んでいく様子が各会場で見られました。「ふくろうぼうや月夜のぼうけん」では、ふくろうぼうやと一緒に夜の森でのぼうけん、ワクワク・ドキドキ・ハラハラと心を大きく動かしていたようです。また、親子で観てほしいと土曜日の午後を設定し、一緒に人形劇を楽しんでそのまま降園できるように配慮された園もありました。土曜日ということで小学生の兄弟の参加もあり、とても和やかな空間で人形劇を楽しんでいたのが印象的でした。子どもたちは人形劇と出会うことで、自身が持っている感情が豊かに引き出され、その様々な感情が大きく動き、誰かと共有しようとする。そのことは、人に関心を持つことにつながり、さらには想像力を刺激し、相手の身になって考える共感性が育つ土台となっていくといわれています。乳幼児期は、感性を豊かに耕し人間の土台をつくっていく大事な時期だからこそ、本事業を通して色々な作品に出会う機会を拡げていきたいという想いを強くしました。

1/30(火)	中部地区青少年健全育成会(平戸市)
31(水)	「ぷっかりぷっかり」試演会 文教おもやい保育園(長崎市)
2/1(木)	認定こども園ありあけ幼稚園(島原市)
2(金)	有家たちばなこども園(南島原市)
3(土)	桜花保育園(島原市)
4(日)	諫早子ども劇場(諫早市)
6(火)	学童保育北小クラブ(諫早市)
7(水)	ふくた保育園(諫早市)
8(木)	小野保育園(諫早市)
9(金)	聖母の騎士東長崎幼稚園(長崎市)
11(日)	佐世保子ども劇場(佐世保市)
12(月)	「ふくろうぼうや月夜のぼうけん」 実行委員会(波佐見町)
13(火)	つばさ保育園(長崎市)
14(水)	稲佐保育園(長崎市)

◆第6回県内高校生青年交流合宿

～話したいyah! 遊びたいyah! キャンプファイyah!～

2024年3月8～10日〈2泊3日〉

大村市・横山頭山荘

参加：県内子ども劇場より計20名

高校生9名、青年8名、大人3名

(ながさき7名、佐世保5名、諫早8名)



県内の子ども劇場で活動する高校生・青年が一堂に集まって年に一度の交流合宿を行いました。学校や仕事などでなかなか時間が取れない中でも、実行委員会を3回開き、大村の「横山頭山荘」で実施。高校生の希望で、今年は2泊3日で取り組みました。この春から高校生になる年齢以上を対象とし、各単位から持ち寄った企画で遊んだり、語り合ったり、食事を作って食べたり、充実の3日間を過ごすことができました。3月とは言えまだまだ寒く、山荘の暖炉が頼りでしたが、天気にも恵まれ、外での活動では思いっきり走り回ることができました。

諫早子ども劇場の持ち込み企画は「諫早チャンバラ」。新聞紙で作った風船を頭にのせ、それをこれまた新聞紙で作った剣でたたき割る合戦です。

佐世保の持ち込み企画は、夕食の食材を賭けた食料争奪戦。動いて取り合い奪い合うイメージでしたが、今回はチームそれぞれの個人の頭脳に委ねられました。地理・歴史・科学・雑学などよく知られている知識を「～ですが」とさらに掘り下げての難問ばかり…。自信たっぷりの回答や完全に直感に頼って楽しむ姿も面白かったです。終わった後は勝ち取った食材の交渉交換! 何でも話し合いで決めます。夕食づくりは高校生を中心に進められ、みんなよく動いていました。どんな夕食ができるかな? みんなで協力して見事なカレーとポトフが完成しました!



恵まれた自然の中にある横山頭では、昔ながらの薪で沸かすお風呂は格別だったようで、薪をくべての暖炉といい、みんなで貴重な生活体験を味わいました。夕食後、闇の中での缶けりは、黄色とグレーのダミーの缶もあり、よく見えない中でのスリルに満ちていて、かなり盛り上がりました。その後、山荘のすぐ前で行ったキャンプファイヤーは、高く舞い上がった火がとても感動的で、思わずみんなから声が上がりました。



焚き火を囲んでの語り企画は、簡単な「どっちが好き?」から始まり、「最近恥ずかしかったこと」「一番お金をかけた物は?」など、だんだんと熱のこもった口調になり、その度に笑いも絶えず。そして最後の「5年後はどうなっていたい?」では、それぞれの新しい出発や今のもどかしい現状、ちょっと先への期待が語られました。聞いているみんなの応援の拍手や温かい笑いがほのぼのとした時間でした。炎のゆらぎはやっぱりいいな～としみじみと思う時間でした。



翌日午前企画は「人狼鬼ごっこ R(リチャード)」。「県で集まったら、この遊び!」という



ものを作ろうと今年の合宿で作った遊びです。カードゲームの人狼と鬼ごっこを合体させ、さらに裏切り要素を盛り込んだもので、誰が人狼(鬼)なのかわからない中での鬼ごっこです。時間が経つにつれだんだん判明していく人狼たち...そして唐突なR(リチャード)の裏切り...市民たちは逃げ切ることができるのか?! 究極の鬼ごっこという感じてした。面白いあそびを作り出すアイデアはさすがで



す!!そして、最後は子ども劇場らしい表現遊び。「はあって言うゲーム」とその場でプロポーズの言葉を作るゲーム。実際にプロポーズの言葉をグループごとに言ってもらい、どの言葉を選ぶか。感情を込めたそれぞれの言葉やとんでもない変なプロポーズもあり、大爆笑でした。こうして日頃から様々なアイデアと遊び心をもって子どもたちと活動していることがよくわかる合宿でした。この交流がまたお互いの力となって次へとつながっていくことと思います。

子どもたちの 「言いたい! 決めたい! やってみたい!」

VOL.2



子ども劇場は、子どもの権利条約 31 条(子どもの文化権の保障)の実現をめざして日々活動しています。昨年開催した講演会の中での北島尚志さんの言葉に共鳴しこのコーナーが誕生しました。「子どもたちの“言いたい、決めたい、やってみたい”を大切にしよう!」という視点から、各地の子どもたちの姿や大人たちの取り組みを紹介します。今回は、ながさき子ども劇場の植木宏美さんに寄稿してもらいました。



ながさき子ども劇場では、乳幼児部クッキー 10 周年記念として、新年明けた 1 月 7 日、5 年ぶりとなる「なにかやろうよ!ながさきフェス」を開催しました。現在のクッキーメンバーと OB、地域ブロックや中高生・青年、自主グループなど、13 演目のステージ表現があり、どれもアイデアにあふれ、子どもたち、そして大人たちの生き生きとした姿がみられました。私は小3、年長、1才と3人の子を持つ母親です。今回副実行委員長をし、3つの演目に関わらせてもらいましたが、今回は、一つのグループに絞って、活動を振り返りたいと思います。

グループの主要メンバーは、大人8名に、0歳~小学校3年生までの子どもが8名、『人魚姫』を題材に、オリジナルの劇を発表する計画でした。子どもたちが比較的低年齢であったこともあり、ある程度のお膳立てが必要でした。

「この役の中から、自分がしたいものを選びませんか?」「この小道具を使うように決めたら、自分で制作できるかな?」と、台本を練りながら、準備の過程で子どもたちができそうなことや、主体的に取り組めるような流れを考えるなど、練習を開始する前に、大人側の準備が必要な場面が多くありました。顔写真付きの大きな台本や、お姫様気分が味わえるカラードレス、おもちゃのマイク、魚の模型(試作品)など、練習初日からいろいろな道具を使用して、気持ちを高めようとしていたなあ…と懐かしく思います。

ここまで読むと、大人が子どものために、必死に準備をしている印象を受けるかもしれませんが、そういうわけでもなく、『まずは自分が楽しむ』を、大人全員が大事にしていたと思います。私に至っては、子どもを置いてきばりにするほどでした(笑)。よく言えば、『大人の本気』を見せていたのです!

子どもたちは、練習を重ねる中で、「魚になりたい!」「こんな風に動きながら、セリフを言ってみる!」などの言葉が出てくるようになりました。大人の提案を聞きながら、「こっちがいい」と好きな方を選択したり、「やってみようかな?」という気持ちが生まれて、ずっと練習に参加したりする様子もありました。最後の方は、大人もセリフを間違えると、すぐに指摘され、正しいセリフを年中児に教えてもらうなど、子どもの力に驚いた場面も多くありました。

練習期間中は必死でしたが、振り返ると、親以外の大人からたくさんの愛情を注いでもらったり、同じグループの一員として年齢関係なく練習し合ったりと、大人にとっても、子どもにとっても、貴重な時間だったと思います。事前準備だけでなく、グループに流れるあたたかな空気から、子ども達の【言いたい!決めたい!やってみたい!】が生まれ、少しずつ形になっていったところがあるのかもしれませんが。今後の活動の中でも、時に手本となり、時に仲間となり、時に影から見守る存在となり…、場に応じて役割を変えながら、子どもたちの【言いたい!決めたい!やってみたい!】を大切に、共に成長していく大人でありたいなと思っています。

子ども劇場 舞台鑑賞情報

★参加方法などについては各地の子ども劇場事務局までお問い合わせください。

作品名(団体名)	月日(曜)	開演時間	会場	主催
おいしいのぼうけん (人形劇団ひとみ座)	2024年 4月18日(木)	19:00	諫早市中央公民館講堂 (諫早市)	諫早子ども劇場
	4月19日(金)	18:30	アルカスSASEBO第2リハーサル室 (佐世保市)	佐世保子ども劇場
	4月20日(土)	①15:30 ②18:30	長崎県美術館ホール (長崎市)	ながさき子ども劇場
シモシュのピアノ旅行 (X-jam)	5月12日(日)	18:30	たらみ図書館海のホール (諫早市)	諫早子ども劇場

第29回
長崎県子ども舞台芸術祭典
2024年7月10日~8月3日



へんてこげきじょう
(人形劇団京芸)



ともだちや
(人形劇団むすび座)



さんまいのおふだ
(人形芝居 燕屋)



ふらっと・ぶらっと
(劇団風の子九州)

**NPO法人
長崎県子ども劇場連絡会**

〒850-0057
長崎市大黒町 4-26
北村第一ビル 303 号室
TEL: 095-825-0533
FAX: 095-825-6151
E-MAIL: n.kogeki@alto.ocn.ne.jp

県内子ども劇場

ながさき子ども劇場
TEL: 095-825-0533

佐世保子ども劇場
TEL: 0956-22-6747

諫早子ども劇場
TEL: 0957-23-5689

壱岐子ども劇場
TEL: 0920-44-5010

Web サイト

<http://www.nakogeki.sakura.ne.jp/>

発行

NPO法人長崎県子ども劇場連絡会

★ご意見・ご感想をお寄せください。

★編集後記★

色とりどりの花が咲き誇る春。新学期のスタートの今、子どもも大人も新しい出会いへの期待や環境の変化への不安な気持ちを抱えている時期かもしれない。

(私が勤める)保育園でも初めて親から離れる時、それはそれは大きな試練だ。安心だと全身で感じるまでは食べたり飲んだりしないこともあり、とても心配する。生まれもった個性をそのまま出し、生命力に溢れている。“個性的”が特別なことではなく、“一人ひとりみんな違う、個性が当たり前”。よく泣く子、よく笑う子、よく動く子、なかなか動かない子も、みんなそれぞれにその瞳はキラキラと輝いていて愛おしい。

また乳幼児期は、自分は愛されている存在と実感し、幸福感につながる愛着が一番形成される時期と言われている。親はもちろん、親以外の大人からたくさんの愛情を注いでもらうことはとても大事なことだ。

多様性の時代と言われる昨今。入学式の1年生がカラフルな色のランドセルを背負っている姿を、「自分の好きな色を選んだんだな～」とうれしい気持ちでみつめている。(T)

〈学習交流企画〉 **トークセッション**
乳幼児とのかかわりが気づかせてくれるもの
～ありのままがいいと言われるけど...～
〈ゲスト〉 ベイビーシアター「ぐるぐる」(CAN 青芸)より
中ムラサトコさん & 浅野佳砂音さん
2024年6月7日(金)10:30~12:30
(10:15受付) 会場:本野ふれあい会館

第23年度

「通常総会」 ※オンライン開催

2024年6月13日(木) 10:00~12:00

団体概要

子どもの豊かな成長と地域の子どもの文化芸術振興に寄与することを目的に2002年にNPO法人として活動を開始しました。長崎県内にある4つの子ども劇場や、子どもに関わる団体や個人の方とのつながりを大切にしながら、地域の文化活動を支援しています。長崎県子ども舞台芸術祭典や舞台公演のコーディネイト、講演会や学習会などの事業を行っています。

子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！
私たちは子どもの文化を応援します。

<p>社会福祉法人 小野保育園 諫早市小野町 676-2 TEL0957-23-0120</p>	<p>ダイハツチバナ 有限会社 林田車体工業 〒854-0126 諫早市松里町 288 TEL 0957-23-5318 FAX 0957-24-1378</p>
<p>ますみクリニック 〒850-0952 長崎市戸町 2丁目20-57 OKホーム&ガーデン戸町店横 弁慶岩バス停前</p>	<p>古豊歯科医院 長崎市小峰町 3-16 ☎ 095-843-4165</p>
<p>ホテルウイング・ポート長崎</p>	<p>〒854-0072 諫早市永昌町43-6 医療法人 マツオ内科クリニック TEL 0957-25-2225 FAX 0957-25-2220</p>
<p>文明堂総本店 長崎市江戸町1番1号 TEL 0120-24-0002</p>	<p>長崎和泉屋 雲仙市愛野町乙 5864 ☎ 0120-54-1238 月曜~土曜 受付時間 9:00~18:30 FAX 0956-58-3637 24時間受付(年中無休)</p>